

原 安 第402号

令和6年10月3日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について（通知）

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

- 1 玄海原子力発電所4号機の高燃焼度燃料の導入に係る原子炉設置変更許可申請の補正について

（佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2024年9月27日付け 立コミ本第237号）・・・別添1

- 2 協定書の覚書に基づく連絡について

（佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2024年9月30日付け 立コミ本第243号）・・・別添2



別 添 1

立コミ本第237号

2024年9月27日

佐賀県知事
山口 祥義 様

九州電力株式会社
代表取締役
社長執行役員 池 辺 和



玄海原子力発電所4号機の高燃焼度燃料の導入に係る

原子炉設置変更許可申請の補正について

拝啓。時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2022年12月28日付け立コミ本第300号にてご連絡しておりました、玄海原子力発電所4号機の高燃焼度燃料の導入に係る原子炉設置変更許可申請書（2024年6月24日付け立コミ本第95号にて補正連絡）について、これまでの審査内容を反映し、別紙のとおり、本日、原子力規制委員会へ補正書を提出しました。

つきましては、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

主な補正内容について

玄海原子力発電所 4 号機の高燃焼度燃料導入に係る原子炉設置変更許可申請について、これまでの国による審査内容を反映した。

○平常時の被ばく評価結果の記載方法の見直し

○高燃焼度燃料の使用に伴う設計確認結果のうち、核設計の項目追加

以 上

立コミ本第243号

2024年9月30日

佐賀県知事

山口祥義様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

池辺和典

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、
別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬具

報告書内容

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 環境保全測定報告書 | (月 報) |
| 2. 発 電 実 績 | (月 報) |
| 3. 核燃料物質の消費状況 | (月 報) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | (月 報) |
| 5. 環境放射能の測定結果 | (月 報) |
| モニタリングポスト | |
| 6. 廃止措置の実施状況 | (月 報) |

以 上

環境保全測定報告書

2024 年 8 月分

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1 ・ 2 号 機	玄海 3 ・ 4 号 機
	0.06	0.04

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1 ・ 2 号 機					玄海 3 ・ 4 号 機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/ℓ) *1	浮遊物質 量 (mg/ℓ) *2	油 分 (mg/ℓ) *2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/ℓ) *1	浮遊物質 量 (mg/ℓ) *2	油 分 (mg/ℓ) *2
8月7日	7.6	1.7	—	—	8月7日	7.2	1.3	—	—
8月14日	7.7	4.7	—	—	8月14日	6.9	1.1	—	—
8月21日	7.6	1.0	0.7	検出せず	8月21日	7.0	1.4	0.1	検出せず
8月28日	7.7	3.6	—	—	8月28日	7.5	1.8	—	—

*1 毎週1回以上の測定

*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)
*1 8月9日	30.7	27.6	検出せず	25.8	32.3	検出せず	26.2	32.9	検出せず
8月20日	27.7	24.9	検出せず	25.0	31.5	検出せず	25.0	31.6	検出せず
8月30日	24.3	24.3	検出せず	24.1	30.6	検出せず	24.1	30.6	検出せず

*1 10日が休日のため、9日の測定結果を報告。

発 電 実 績

2024年8月分

九州電力株式会社

号機		※1	※2	3 号 機	4 号 機	発電所合計	
		1 号 機	2 号 機				
最 大 出 力		kW	—	—	1, 180, 000	1, 180, 000	2, 360, 000
発 電 日 数		日	—	—	31	31	31
発 電 時 間 数		時間	—	—	744	744	744
電 力 量	発 電 端	10 ³ kWh	—	—	895, 527	885, 950	1, 781, 477
	所 内 消 費	10 ³ kWh	1, 767	1, 438	36, 728	35, 213	75, 146
	送 電 端	10 ³ kWh	-1, 767	-1, 438	858, 799	850, 737	1, 706, 331
最 大 電 力		kW	—	—	1, 209, 000	1, 195, 000	2, 404, 000
平均最大電力		kW	—	—	1, 207, 355	1, 194, 097	2, 401, 129
平 均 電 力		kW	—	—	1, 203, 665	1, 190, 793	2, 394, 458
負 荷 率		%	—	—	99. 6	99. 6	99. 6
利 用 率		%	—	—	102. 0	100. 9	101. 5

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2024年 8 月分 九州電力株式会社
(玄海原子力発電所1号炉)

初 期 濃 縮 度 (%)	炉 内 入 入 量		月 末 在 庫 量 (炉内そう入用)		月 末 装 荷 量				炉 外 取 出 量				月 末 在 庫 量 (払出用)			熱 消 費 量 (10 ⁹ kJ)	核 燃 料 物 質 消 費 量 (kg)		
	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)				
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(87)	33,075	324	326	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(113)	42,466	384	487	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(168)	64,681	1,414	595	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(368)	140,223	2,122	1,408	0	0

(注) 2015年4月27日運転終了
(注) () 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所2号炉)

2024年 8 月分

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取用量				月末在庫量 (払出用)		熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	燃焼 度 (10^3 kWd/t)	プルトニウムの 量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)	燃焼 度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)		
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(189)	72,769	822	680	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(177)	66,880	754	729	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(84)	33,261	1,168	159	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(450)	172,910	2,744	1,568	0

(注) 2019年4月9日運転終了
(注) () 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2024年

8月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所3号炉)

初 期 濃 縮 度 (%)	炉 内 入 入 量			月 末 在 庫 量 (炉内そう入用)			月 末 装 荷 量				炉 外 取 出 量				月 末 在 庫 量 (払出用)			熱 消 費 量 (10 ⁹ kJ)	核 燃 料 物 質 消 費 量 (kg)	
	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)						
2.00	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,209 (65)	233	205	0	0
3.50	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,828 (18)	59	91	0	0
4.10 (MOX) *	0	0	---	58,973 (133)	1,243	---	85,216 (193)	1,927	616	21,863	0	0	0	0	0	278,191 (36)	3,156	3,127	9,109	111
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,769	22	1,148	0	0
合 計	0	0	0	58,973 (133)	1,243	0	85,216 (193)	1,927	616	8,130	0	0	0	0	0	329,996 (765)	3,470	4,571	9,109	111

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

2024年

8月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所4号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取用量				月末在庫量 (払出用)		熱 消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)		
2.00	0	0	(1) 453	4	0	0	0	0	0	0	0	(64) 28,765	195	220	0	0
3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(64) 28,186	286	304	0	0
4.10	0	0	(137) 59,674	873	(193) 85,865	2,198	531	17,785	0	0	0	(850) 366,334	3,903	4,188	9,109	111
合計	0	0	(138) 60,127	877	(193) 85,865	2,198	531	3,400	0	0	0	(978) 423,286	4,384	4,712	9,109	111

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年8月分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
133 (-243)	39,288

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年8月分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年8月分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示す。

放射性廃棄物の管理状況

2024年8月分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に表示。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

環境放射能測定結果

(2024 年 8 月分)

2024 年 9 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2024 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	24	23	24	16	24	24	24
2	24	24	24	17	25	24	25
3	25	24	24	18	25	24	25
4	25	24	24	19	27	24	25
5	26	24	25	20	26	24	24
6	25	24	25	21	24	23	24
7	25	24	24	22	25	23	24
8	25	24	24	23	28	24	24
9	25	24	25	24	25	24	24
10	25	24	24	25	25	24	24
11	25	24	24	26	25	24	25
12	25	24	24	27	26	24	25
13	25	24	24	28	24	24	24
14	26	24	25	29	41	25	30
15	26	24	25	30	36	24	28
				31	25	23	24

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2024 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	22	21	21	16	22	21	22
2	22	21	22	17	23	22	22
3	22	22	22	18	23	22	22
4	23	22	22	19	25	22	23
5	24	22	23	20	23	21	22
6	23	22	22	21	22	21	21
7	22	22	22	22	22	21	22
8	23	22	22	23	25	22	22
9	23	22	22	24	23	21	22
10	22	22	22	25	23	21	22
11	22	22	22	26	23	22	22
12	23	22	22	27	23	22	22
13	23	22	22	28	22	22	22
14	26	22	23	29	31	23	25
15	23	21	23	30	31	21	25
				31	23	21	22

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2024 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	23	22	23	16	24	23	23
2	23	23	23	17	24	23	24
3	24	23	23	18	24	23	24
4	24	23	23	19	27	23	24
5	25	23	24	20	25	23	23
6	24	23	24	21	23	23	23
7	24	23	23	22	24	23	23
8	24	23	23	23	27	23	24
9	24	23	24	24	24	23	23
10	24	23	23	25	24	23	23
11	24	23	23	26	24	23	24
12	24	23	23	27	26	23	24
13	24	23	23	28	24	23	23
14	26	23	24	29	35	24	27
15	25	23	24	30	34	22	26
				31	24	22	23

玄海1号機 廃止措置の実施状況
(2024年 8月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

[illegible]

2 今月の作業実績 (注2)

(1) 系統除染

・実績なし（作業終了：2017.7.13～2018.12.11）

(2) 汚染状況の調査

・実績なし（作業終了：2017.8.29～2022.3.18）

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	スクリーン洗浄ポンプバックアップポンプ解体撤去工事 ・2024.1.29～実施中 脱気器／湿分離器逃し弁解体撤去工事 ・2024.5.31～実施中

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位: トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	1026.2	0	1026.2	0
コンクリート類	0	47.1	0	47.1	0
その他	0	99.4	0	99.4	0

(4) 燃料搬出 (注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	64
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m³)	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	2	784	0	0	784
均質固化体	0	22	0	0	22
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	2	762	0	0	762

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2024.8.31] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	200.55

3 その他

・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量（トン数）を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量（当初）」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量（前月末まで）」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数（累計）を記載する。

(注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可（2017.4.19）以降の1号機における発生量（発電所全体量の内数）を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量（m³）を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2 m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量（m³）を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量（m³）を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量（本数）を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量（本数）を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値（単位：mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁）を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況
(2024年 8月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)汚染状況の調査						
線量当量率測定						
試料採取						
輸送・分析・評価				輸送・分析 評価		
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工（6月29日） A,B湿分分離加熱器 RO装置	タービン建屋内機器保温材 油計量タンク 塵芥搬送装置 バケット吊り装置	復水器真空ポンプ	高圧給水加熱器 C,D湿分分離加熱器 脱気器/湿分分離器連し弁 スチームコンバータ 復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備含む） 復水フィルタ SGBD熱回収装置 薬品ヤード	主/所内変圧器 循環水ポンプ ロータリースクリーン 補給水処理設備 屋外用空気圧縮機 液体窒素供給装置	
(3)使用済燃料搬出				搬出計画検討		
(4)新燃料搬出	輸送容器への収納方法 検討・搬出準備					

2 今月の作業実績（注2）

(1) 汚染状況の調査

・実績なし（作業終了：2020.8.17～2023.9.22）

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	補給水処理設備、屋外用空気圧縮機 解体撤去工事 ・2024.1.29～実施中 液体窒素供給装置解体撤去工事 ・2024.1.29～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	1405.4	0	1405.4	0
コンクリート類	0	137.8	0	137.8	0
その他	0	180.3	0	180.3	0

(3) 燃料搬出 (注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	254
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	168
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	28
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	84
		搬出量 (前月末まで)	84
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(4) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m³)	0	0	0	0	0
固体廃棄物 (本)	10	450	0	16	434
均質固化体	0	29	0	0	29
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	10	421	0	16	405

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1~2024.8.31] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.02	0.00	0.01	11.38

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量（トン数）を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量（当初）」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量（前月末まで）」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数（累計）を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可（2020.3.18）以降の2号機における発生量（発電所全体量の内数）を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量（m³）を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1 m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量（m³）を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量（m³）を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量（本数）を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量（本数）を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値（単位：mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁）を集計して記載する。